

北陸ブロック道路標識適正化委員会富山県部会 審議事項

～2024年北陸新幹線(金沢～敦賀駅)開業に向けた道路標識改善の取組方針～

資料4

1. 目的

2024年北陸新幹線(金沢～敦賀駅)開業に向けて、増加が想定される外国人旅行者をはじめとする様々な訪問者にとって、さらに道路標識がわかりやすいものとなるよう、改善を推進する。

2. 取組内容

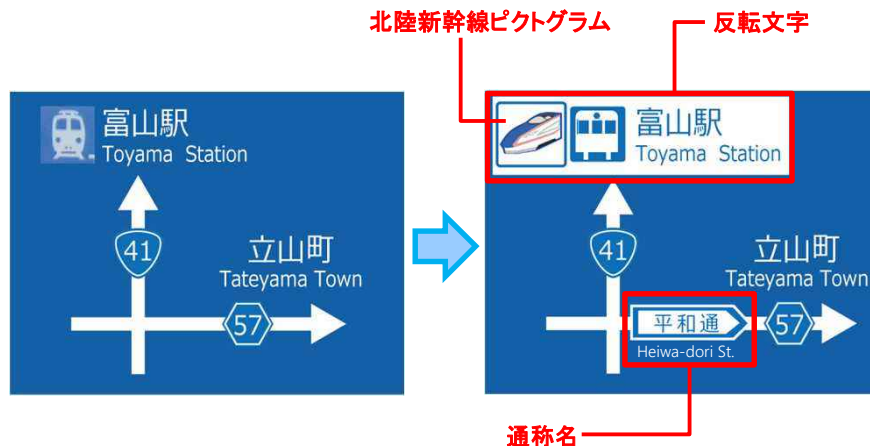
2024年北陸新幹線(金沢～敦賀駅)開業に向けて、道路標識について、関係機関と連携しつつ、以下の取組を進める。

○英語表記



○ピクトグラムや反転文字の活用

○通称名追記



3. 整備箇所

次に示す富山県内の重点整備エリア及び対象路線を各道路管理者が連携し、道路標識の改善を推進する。

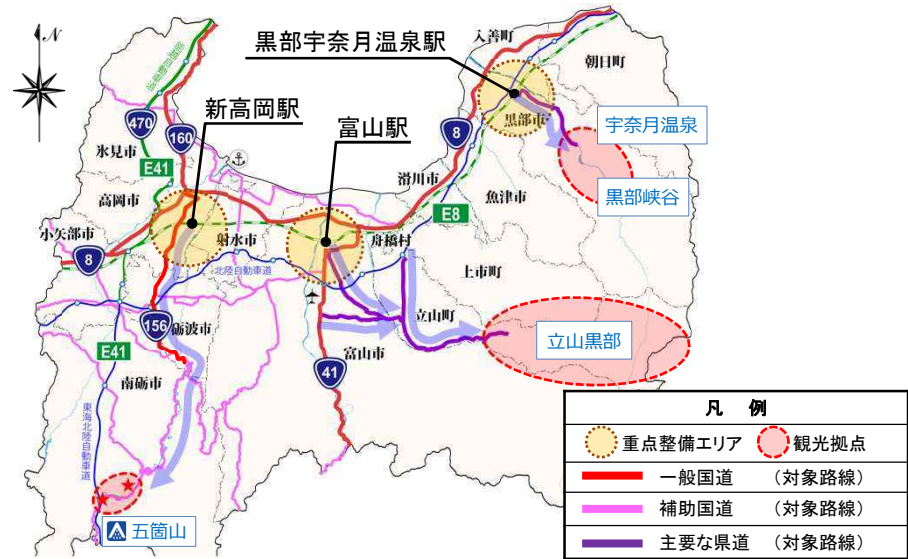
《重点整備エリア》

※①は拠点(施設等)から概ね半径5km圏内を想定

エリア	エリアの対象	エリアの数
① 北陸新幹線停車駅エリア	黒部宇奈月温泉駅、富山駅、新高岡駅	3
② 地方拠点(観光拠点)	観光庁が選定した地方拠点「立山黒部」	1
③ 世界遺産(観光拠点)	五箇山(相倉合掌集落・菅沼合掌集落)	1
④ その他エリア	①、②、③の他、各道路管理者が重点的に整備を進めるべきであると判断したエリア	必要に応じて今後設定

《対象路線》

道路管理者	対象路線
国土交通省	重点整備エリア内国道+影響範囲 ・一般国道8号、41号、156号、160号、470号
富山県	重点整備、観光拠点エリア内の補助国道+主要な県道+影響範囲
黒部市、立山町、富山市、高岡市、南砺市、周辺市町村	重点整備・観光拠点エリア内の主要な市町村道



4. スケジュール

2024年を目途に道路標識の改善を推進する。なお、詳細については関係者で協議・調整を継続する